

事務局対応案
 1. 素案を修正する
 2. 素案どおりとする
 3. その他(検討中)

項目	ページ	委員発言内容	事務局対応案	修正案及び修正をしない理由等	担当部
1 市民と共にまちを育てる	53	の3つ目、「男女がこれまでの社会慣行に」とあるが、慣行は昔から行われてきて決まりによるようになっていたり、やり方のことであり、役割を強制される社会制度が問題。「社会制度・慣行」と追加すべき。	1	「社会制度・慣行」と修正する。	総務部
(1) 地域と行政の協働の推進	55	(再)の取り扱いについて検討してほしい。同じ内容でダブリなのか記載内容が異なるのか確認が必要で、見る市民にはわずらわしいと思う。	3	施策重視で本書を構成しているため再掲は必ず出てくる。工夫はしたい	企画部
	55	1つ目、「～市民が主導的役割を」とあるが、中項目の標題では「共に」となっている。あわない感じがするのでは。	1	「主導的役割を果たしていくために、～」を「主体的役割を果たし、地域の課題は地域で～」と修正する。	企画部
	55	「まちづくりを進めるために～まちづくりを進める」など表現が適切でない。	1	「災害に強いまちづくりを進めるために」を「災害に強いまちの実現をめざし」と修正する。	企画部
	55	「地域コミュニティ協議会」「区自治協議会」と出てくるが説明がない。お互いの関連性が分からない。説明が必要ではないか。	1	記載内容を整理する	企画部
	59	男女共同参画推進条例が既に制定されており、この6つの基本理念を盛り込んでほしい。	2	人権の項目もあり、条例の基本理念は全て入っている。また、「社会制度・慣行についての配慮」については、「現況と課題」で記載し、その認識の上で「施策展開」しており、記載はこのままとしたい。	総務部
(4) 人権尊重・男女共同参画の社会づくり	59	「差別をなくし」という言葉をあえて使っていない。必要なキーワードは入れておく必要があるのではないか。	1	「誰もが」のあとに「差別されることなく」を入れる。	総務部
	59	標題が「～共同参画」となっているが「～男女共同参画」に追加記載してほしい。	1	「～男女共同参画」と修正する。	総務部
	59	「依然として低い女性参画率の向上を図る」とあるが、低いという現状のみを述べるに留まっており施策の展開に繋がっていない。	1	参画率向上のための具体的な誘導策を例示しながら整理する。	総務部
	59	標題で、「家庭生活と社会生活の両立支援」となっているが「仕事と生活の両立」としてほしい。	2	条例案を審議した審議会において、子育てや介護などを行う「家庭生活における活動」と、仕事と共にボランティアや地域防災活動なども重要であることから「その他の社会生活における活動」とし、この二つの活動を両立させることがポイントとした。標題はこのままとしたい。	総務部
	59	「男女の性別にかかわらず～」とあるが、「男女が～」で意味は通じるのではないか。	1	「男女が、」と修正する。	総務部
	59	男女特性論に誤解されやすい表記であり、男女共同参画条例の理念(記載内容)に沿った表現にしてほしい。	1	条例の内容では記載内容が長すぎ、また分かりにくいことから、「互いの性について理解を深め、妊娠や出産などに関する自らの決定を尊重～」と修正する。	総務部
	59	「関係機関」とあるが「関係部署」ではないのか。	2	国・県・民間との連携が必要であることからこのままとしたい。	総務部
	59	標題で、「男女共同参画に関する～」を追加してほしい。	2	男女も含めた人権相談や市政全般について相談業務に対応することからこの位置とした。標題はこのままとし、「～市政全般や人権に関すること・市民生活に～」と修正する。	総務部
	59	市民相談事業が、なぜ人権や男女の項目にあるのか。入れる所のない項目なのか。	1		総務部
	2 個性ある地域づくり	62	(1)(3)を分ける必要がないのでは。	3	検討する。 (1)は制度設計的なもの、(3)は具体的な取り組みとして整理している。
(1) 地域によるまちづくり	63	分権型協働都市は柱であり、それ以外の表現をする場合は違いの分かる説明が必要ではないか。(分権型市民都市、分権型政令市、分権都市)	1	分権型協働都市を原則として使用する。ただし、分権型政令市は合併建設計画や合併マニフェストの中の目指す政令市像であることから説明を加えながら場合によっては表現する。 (P53) 1つ目、分権型市民都市 分権型協働都市 (P55) 表題、分権型政令市～ " " (P65) 文中、分権都市～ " "	企画部
	63	用語への説明が不足している。	1	巻末、ページ下段や文中を用いて分かり工夫したい	企画部
	63	産業・経済の分野は地域のまちづくりにおいても重要であり、項目として入らないのか。	2	分権型協働都市ということで、市民・地域との協働という視点で項目を整理し、市民参加や自治会、地域コミュニティ協議会、区自治協議会、NPOというような組織的、地域的な活動を主体とした記載としている。また、産業・経済は都市像 に記載している	企画部
	63	地域通貨やNPOの企業化などの動きは入れることができるのではないか。	3	記載について検討する	企画部

事務局対応案
 1. 素案を修正する
 2. 素案どおりとする
 3. その他(検討中)

	項目	ページ	委員発言内容	事務局対応案	修正案及び修正をしない理由等	担当部
21	(1) 地域の特性を活かした地域によるまちづくり	63	分権型で区に全てを委ねて、全体の調和はどう図るのが記載がない	3	基本構想2のまちづくりの基本的な考え方のまちづくりの理念の18行目以降、目指すまちのかたちの14行目以降にその考え方を示している。	企画部
22		63	自立度とあるが、判別する項目の良し悪しは別として市民に示す必要があるのでは。	3	自立度をどう評価できるのか指標の検討します、また、困難な場合は表現を工夫します。	企画部
23		63	都市内分権の目的が、P62と異なる。整理してほしい。	3	都市内分権とは、地域のことは身近なところで担ってもらおうという考え方であり、具体的には、本庁と区役所間の権限委譲協働の推進の基本となる行政と市民・地域との役割分担など関係(区自治協議会の設置など)の見直しを想定している。以上踏まえ表現を整理します。	企画部
24		63	P55 中段と(1) 2つ目が全く同じ内容である。章が異なるのだから当然内容が異なるのではないか。	1	この項目を削除します。なお、(3)との関係を整理する中で表現を記載します。	企画部
25		63	ここに「文化施設の整備」があるが、なぜ、まちづくりの項目にいきなり施設整備が入るのか。スポーツ施設は入れなくて良いのか記載内容を整理してほしい。	1	活動の場の提供という観点から記載していたが、他の施設も考えることから、文化施設のみの記載となっているこの項目は削除する。	国際文化部
26		63	この項目は活動の場の整備として項目であり必要と思う。しかし標題が適切ではないのでは。	1	削除は 25 による	国際文化部
27		63	にいがた地元学のように説明を聞かないと分からない単語を標題からは外して、文中に説明を付して記載してはどうか。	1	文中の言葉が地元学の説明なので、「活動を支援します。」を「にいがた地元学」の活動を支援します。」に記載を訂正する。	企画部
28		63	地元学の成り立ちから「」での標記が適切ではないか。	1	新潟市で行う地元学を一般的な地元学と区別するため「」を付けており、ご指摘のとおり記載を「にいがた地元学」に訂正する。	企画部
29		64	「たから」か「宝」かなど用語の使用に気をつけてほしい。	2	どんな素材でも「たから(価値あるもの)」になる可能性があるという地元学の考えから、特定のイメージ価値を連想しがちな「宝」という漢字を使わずひらがなにしている。	企画部
30		63	「市民が地域活動等～主体的な学習活動ができる研修や組織づくり」とあるが、どの様な取り組みなのかかわからない。分かりやすくしてほしい。	1	記載を修正する	生涯学習部
31	(2) 地域文化の振興と発信	64	文化・歴史に関しては、研究及び整理があつてのものではないか。項目に追加してほしい。	1	及び の文中に、調査研究について記載を追加する。	国際文化部
32		64	「地主文化」とあるが、地主を文化としてあえて講じる必要はないのでは。	3	「みなとまち文化」に対比する形で「地主文化」という用語を用いたが、一般に馴染みがないなら、記載について検討する。	国際文化部
33	3 市民と行政の信頼のきずな	66	行政コストを下げるための協働と、それによる個人負担の増加など明確にすべきでは。	2	協働は、行政コストを下げるためだけのものではないと考えており、ここでその点を強調すると誤解を与えることからここでは行政の取り組みを中心に記載したい。	企画部
34		66	標題と項目の内容が合わない。 が標題になって 以下が流れていく構成になるのではないか。	3	標題と併せて構成・記載内容を検討します。	企画部
35		66	(1)の標題が良くない。	3	”	総務部
36		66	現況と課題の 4つ目で、「少子高齢化社会の進展や経済の低成長」とあるが、この対応は当然のことであり記載は不要ではないか。	2	厳しい財政状況であるという現況を踏まえ、簡素化・効率化した行財政運営でなければいけないという意味で掲載しているものです。	総務部
37	(1) スマートでスピーディな市役所	67	何をするのが具体的に記載されていない。市民に関心の高い項目であり、ページを使って工夫してほしい。	3	記載について検討する	総務部
38		67	指定管理者や、市の中でより良い業務の民間へのアウトソーシングなど具体的に書けるのではないか。	3	記載について検討する	総務部
39		67	財政的な裏づけは重要であり示してほしい。	3	国の動きなど不透明な部分もあり、どう本書に入れるかは検討する	企画部

事務局対応案
 1. 素案を修正する
 2. 素案どおりとする
 3. その他(検討中)

	項目	ページ	委員発言内容	事務局対応案	修正案及び修正をしない理由等	担当部
40	(1) スマートでスピーディな市役所	67	政令市になって良くなること、コスト高になるところなど示すべき。	2	この計画は政令市移行後に8年間を展望する計画としてスタートするものであり、政令市になってよくなることなどを記載することはなじまないと考える。移行後の効果などは、広域合併や区割り等の説明会において説明してきており、今後、移行が決まった後の広報において十分になされるものと考えている。なお、コスト高については、中核市から政令市への移行が原因での一律的なアップは想定していない。政令市移行は国・県・市の関係から国・政令市の関係となり従来の二重行政が解消されるなど効率化を促進すると考える。	企画部
41		67	NPOなどの活用を入れてはどうか。	3	34の対応と関連があることから併せて検討いたします。	総務部
42	行政経営品質の向上	67	「拡大する市民ニーズ」の表記はおかしい。拡大するのは、量なのか高度化なのかわからない。	1	上段に市民ニーズについての記載があり、記載が重複することから削除する。	総務部
43		67	最小のコストで最大の効果を得るための目的が「持続的な行政運営を図るため」ではおかしいのではないか。	3	但し、「持続的な」は削除する方向で検討します。	総務部
44	定員管理・人事管理・給与の訂正化	67	「選択と集中」とあるが、地域によるアンバランスは生まれると誤解されるのではないか。	1	「持続的な」を取り「対応した行政運営」と修正。選択と集中について、記載の主旨を誤解されないよう「地域のまちづくりを推進する都市内分権の取組みに配慮しつつ」の記載を加える。	企画部
45		67	「市民の理解を得られる給与～」とあるが、誰のために書かれる本書かわからないので不要ではないか。	3	34の対応と関連があることから併せて検討いたします。	総務部
46	地方分権の推進	67	上段の定員管理の記述については、と同じ内容であり不当ではないか。	3	〃	総務部
47		67	下段の職員の能力向上や評価システムについては、人材の育成と一緒にできるのではないか。	3	〃	総務部
48		68	「地方分権の推進」の項目は順位として上位ではないか。	3	〃	企画部
49	(2) 開かれた市政	68	(2)文中で、個人情報保護法の制定などへの取り組みとあるが、既に制定されているのではないか。	1	個人情報保護法は既に制定済みであり、法に基づく取り組みの推進に記載を訂正する。	総務部